



元気ですか？
元気があれば
何でもできる！

発行
佐野市立北中学校
上野善巳

tel 0283-23-0961
fax 0283-23-0946



第78回 卒業式 校長式辞（要旨）一部割愛

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんは、四月からそれぞれの道を歩むこととなりますが、私から三つの話をし、はなむけの言葉とします。

まず一つ目は、「命を大切にすること」です。自分の命はもちろん、まわりの人の命もです。これは、自分で自分を大切に、まわりの人も大切にすることでもあります。どんなにつらくても、つらく、苦しいことは、永遠には続きません。失敗したら、やり直せばよいのです。コロナ禍での生活が過去三年続きました。生活が制限され、人との関わりなど社会に大きな変化がありました。しかし、人間は一人では生きていけません。助け合い、支え合ってこそ、生きていけるのです。そのためにも、自他の命を大切に、困難にも負けずに、生きていってほしいと思います。奇しくも、明日は3月11日。15年前のこの日、東日本大震災が発生しました。また、一昨年のお正月には、能登半島を中心に大きな地震が発生しました。毎日毎日を、命を大切に生活してください。

二つ目は「感謝する心、思いやりの心を忘れない」ということです。先ほども言いましたが、人は一人では生きていけません。家族、地域の方々、同級生や下級生、先輩、そして先生方。また、直接お目にかかることはありませんが、私たちが生活する上で必要な衣・食・住などを提供してくださっているの方々、そして医療や福祉関係の方々など多くの人たちに支えられながら生きているのです。正に、感謝です。ぜひ、感謝しながら生活してください。そして、周囲でこまっている人がいれば声をかけ、助ける、自分がされていやなことはしないこと。教室の後に掲げた「怒（じょ）」の精神です。思いやりの心をもって、生きていってください。

最後に三つ目。「人と人との縁を大切に」してください。3年生この207人が出会ったのも縁、先生たちと出会ったのも縁、1・2年生といっしょに過ごしたのも縁。「袖触れ合うも多生の縁」という言葉があります。その意味は、知らない人とたまたま道で袖が触れ合うような、ちょっとしたことも、前世からの深い因縁であるということ、言い換えると、人との縁はすべて単なる偶然ではなく、深い因縁によって起こるものだから、どんな出会いも大切にしなければならぬという仏教的な教えに基づく言葉です。ですから出会いは偶然ではなく、必然なのです。出会う必要があったから、出会ったのです。この縁をこれからも大切にしていってください。

教職員一同、皆さん一人一人の活躍と幸せを心から祈っています。

そして最後に言わせてください。「元気ですか。元気があれば、何でもできる。」

令和8年 3月10日 佐野市立北中学校 校長 上野 善巳